



## 2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月2日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東  
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日  
 配当支払開始予定日 2020年8月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け動画配信）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年11月期第2四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	85,064	0.6	926	△57.2	819	△67.1	114	△91.6
2019年11月期第2四半期	84,567	2.7	2,167	0.2	2,487	11.4	1,351	13.0

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 365百万円 (△76.6%) 2019年11月期第2四半期 1,563百万円 (5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	9.19	—
2019年11月期第2四半期	108.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年11月期第2四半期	88,518		40,107		41.2	
2019年11月期	88,175		40,085		41.4	

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 36,439百万円 2019年11月期 36,540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年11月期	—	23.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	△0.1	2,800	△32.3	2,710	△37.7	910	△50.4	73.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 2 Q	12,677,900株	2019年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	2020年11月期 2 Q	249,486株	2019年11月期	249,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 2 Q	12,428,421株	2019年11月期 2 Q	12,428,424株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での説明会を見送ることにいたしました。決算に関する説明は、2020年7月6日（月）に機関投資家・アナリスト向けの動画を配信する予定です。なお、決算説明資料については、後日当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2020年11月期の個別業績予想 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	3.2	1,130	△53.2	620	△61.5	49.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動が抑制され、個人消費や輸出、生産の減少に加えて雇用情勢も弱含みとなるなど、景気は急速に悪化し、先行きは厳しい状況となりました。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価は低位に推移しましたが、移動制限や外出自粛の影響により、外食需要が大きく減退したことに加え、内食需要は、急激な需要の高まりにより、人手の確保や配送において調整が取りづらい状況が続くなど、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画(2019年度から2021年度)を推進しております。

中期経営計画の2年目となる2020年度は、事業戦略の確実な遂行により、確かな成長をめざす年として、収益力の強化、オペレーションのシンプル化、機能拡充投資、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退が大きく、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は850億64百万円(0.6%増)、営業利益は9億26百万円(57.2%減)、経常利益は8億19百万円(67.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億14百万円(91.6%減)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

#### (共同物流事業)

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりましたが、3月以降は急速な消費の減退により出荷物量が減少しました。利益面は、適正料金の収受および運送業務の合理化など改善に努めましたが、出荷物量が減少したことによる影響や省人化機器への投資が先行したことなどにより損失を計上しました。

この結果、共同物流事業収益は563億6百万円(前年同期比0.5%増)となり、営業損失は42百万円となりました。

#### (専用物流事業)

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアや外食需要は落ち込みましたが、チェーンストアなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、営業収益増加による利益増および適正料金の収受などが進捗しましたが、出荷物量が減少したことによる影響やセンター立上げによる費用増加などにより前年を下回りました。

この結果、専用物流事業収益は256億46百万円(前年同期比1.8%増)となり、営業利益は7億26百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

#### (関連事業)

関連事業は、車両販売台数や燃料販売が減少したものの、施設工事が前年を上回りました。

この結果、関連事業収益は31億11百万円(前年同期比6.7%減)となり、営業利益は2億29百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加し、885億18百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少15億53百万円、投資有価証券の減少2億13百万円はありましたが、有形固定資産の増加19億61百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加し、484億11百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び営業未払金の減少11億96百万円はありましたが、長期借入金の増加15億25百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、401億7百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の減少1億71百万円はありましたが、非支配株主持分の増加1億23百万円、退職給付に係る調整累計額の増加78百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少し36億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、22億61百万円(前年同期は32億73百万円の収入)となりました。これは主に、仕入債務の減少、法人税等の支払額の発生はありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、35億81百万円(前年同期は44億31百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、10億81百万円(前年同期は14億46百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出はありましたが、長期借入れによる収入、短期借入金の純増減額の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期までの各事業の進捗などを勘案した結果、下表のとおり連結および個別の業績予想を修正しております。新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞により、営業収益は前回予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましても、新型コロナウイルスの影響に加え、事業拡大に伴う労務費や減価償却費などの経費が増加したことなどから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。業績予想における事業環境の前提といたしましては、6月以降も感染症の再拡大に警戒しながら、経済活動が徐々に再開していく状況を想定したものであり、実際の終息時期によって変動する可能性があります。

2020年1月9日付の「2019年11月期 決算短信」で公表しました、2020年11月期の連結業績予想および個別業績予想との差異は以下のとおりです。

2020年11月期の連結業績予想数値の修正（2019年12月1日～2020年11月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	174,000	4,200	4,150	1,920	154.48
今回修正予想（B）	172,000	2,800	2,710	910	73.22
増減額（B－A）	△2,000	△1,400	△1,440	△1,010	－
増減率（％）	△1.1％	△33.3％	△34.7％	△52.6％	－
（参考）前期実績（2019年11月期）	172,185	4,133	4,350	1,835	147.71

（参考）

2020年11月期の個別業績予想数値の修正（2019年12月1日～2020年11月30日）

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	97,000	1,520	870	70.00
今回修正予想（B）	96,000	1,130	620	49.89
増減額（B－A）	△1,000	△390	△250	－
増減率（％）	△1.0％	△25.7％	△28.7％	－
（参考）前期実績（2019年11月期）	93,052	2,413	1,610	129.60

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,890	3,655
受取手形及び営業未収入金	21,090	19,537
商品	82	121
貯蔵品	124	145
その他	1,606	1,869
貸倒引当金	△129	△129
流動資産合計	26,665	25,199
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	11,235	11,072
機械装置及び運搬具(純額)	12,129	16,181
工具、器具及び備品(純額)	1,252	1,195
土地	21,808	22,348
リース資産(純額)	2,267	2,088
建設仮勘定	2,637	405
有形固定資産合計	51,330	53,292
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	1,184	1,118
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,264	2,050
敷金及び保証金	4,136	4,155
その他	2,647	2,754
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,994	8,907
固定資産合計	61,509	63,319
資産合計	88,175	88,518



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,790	13,594
短期借入金	4,274	4,635
未払法人税等	917	666
賞与引当金	938	926
役員賞与引当金	66	38
その他	8,642	8,771
流動負債合計	29,630	28,631
固定負債		
長期借入金	14,249	15,775
退職給付に係る負債	702	545
資産除去債務	967	980
その他	2,540	2,479
固定負債合計	18,459	19,779
負債合計	48,089	48,411
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	28,776	28,604
自己株式	△361	△361
株主資本合計	36,686	36,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	665
繰延ヘッジ損益	△7	△6
為替換算調整勘定	67	71
退職給付に係る調整累計額	△884	△806
その他の包括利益累計額合計	△146	△76
非支配株主持分	3,545	3,668
純資産合計	40,085	40,107
負債純資産合計	88,175	88,518

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）
営業収益	84,567	85,064
営業原価	79,878	81,703
営業総利益	4,688	3,360
販売費及び一般管理費	2,520	2,434
営業利益	2,167	926
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	14	10
受取賃貸料	29	30
補助金収入	303	2
デリバティブ評価益	3	—
養老保険解約差益	2	36
その他	56	47
営業外収益合計	414	130
営業外費用		
支払利息	54	57
貸与設備諸費用	21	22
持分法による投資損失	1	25
デリバティブ評価損	—	24
未稼働設備関連費用	—	97
その他	17	11
営業外費用合計	94	238
経常利益	2,487	819
特別利益		
固定資産売却益	16	27
関係会社株式売却益	—	6
特別利益合計	16	33
特別損失		
固定資産除売却損	51	65
リース解約損	0	0
特別損失合計	51	66
税金等調整前四半期純利益	2,452	786
法人税、住民税及び事業税	946	611
法人税等調整額	△71	△130
法人税等合計	874	480
四半期純利益	1,577	305
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	191
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,351	114

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	1,577	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△23
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△0	4
退職給付に係る調整額	68	78
その他の包括利益合計	△13	59
四半期包括利益	1,563	365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,344	184
非支配株主に係る四半期包括利益	218	181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,452	786
減価償却費	1,974	2,216
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	55	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△79	△41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△28
受取利息及び受取配当金	△17	△13
支払利息	54	57
持分法による投資損益(△は益)	1	25
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△6
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△20
有形固定資産除却損	37	58
売上債権の増減額(△は増加)	733	1,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50	△59
仕入債務の増減額(△は減少)	△837	△1,237
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△26
未払消費税等の増減額(△は減少)	9	124
その他	△118	△182
小計	4,188	3,193
利息及び配当金の受取額	24	21
利息の支払額	△52	△56
法人税等の支払額	△927	△928
法人税等の還付額	41	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,273	2,261
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,966	△3,626
有形固定資産の売却による収入	37	37
無形固定資産の取得による支出	△482	△59
投資有価証券の取得による支出	△15	△6
貸付けによる支出	△18	△112
貸付金の回収による収入	15	21
関係会社株式の売却による収入	—	164
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,431	△3,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600	500
長期借入れによる収入	4,300	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,451	△1,413
リース債務の返済による支出	△472	△460
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△273	△285
非支配株主への配当金の支払額	△56	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,446	1,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	288	△234
現金及び現金同等物の期首残高	4,545	3,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,833	3,655

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	56,029	25,201	3,336	84,567	—	84,567
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	4,387	457	2,258	7,102	△7,102	—
計	60,416	25,658	5,595	91,670	△7,102	84,567
セグメント利益	1,165	760	227	2,152	15	2,167

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	56,306	25,646	3,111	85,064	—	85,064
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	5,198	496	2,248	7,944	△7,944	—
計	61,505	26,142	5,360	93,008	△7,944	85,064
セグメント利益又は損失(△)	△42	726	229	913	13	926

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制の変更に伴い、一部の子会社については、報告セグメントを「共同物流事業」から「関連事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。